

2026年9月9日

国土交通省主催「第9回JAPANコンストラクション国際賞」の 先駆的事業活動部門を受賞

日本国土開発株式会社（本社：東京都港区虎ノ門4-3-13、代表取締役社長：長谷川幸生）が、バングラデシュで推進する「JaPaniシステム」を活用した、安全・安心な飲料水の供給を可能とする分散型地方給水事業が、このたび国土交通省主催の「第9回JAPANコンストラクション国際賞（先駆的事業活動部門）」を受賞しました。同賞の表彰式は2026年9月3日に時事通信ホール（東京都中央区銀座）で開催され、当社を代表して常務執行役員CFOサステナビリティ経営本部長の大西暁子が、金子 恭之 国土交通大臣から表彰を受けました。



国土交通省主催の「第9回JAPANコンストラクション国際賞」表彰式の模様
左画像の中央が当社常務取締役役員CFOの大西暁子

国土交通省主催の「JAPANコンストラクション国際賞」は、「質の高いインフラ」の更なる普及啓発を図り、我が国企業の海外におけるプレゼンスを高めるとともに、我が国企業の更なる海外進出を支援するものです。

当社は、「機能性材料（NLDH®）」を活用した井戸水のヒ素吸着除去技術（JaPani System）を提案しました。本技術は、高い陰イオン吸着性能を有する無機系陰イオン吸着材を活用した浄水技術です。層状複水酸化物の一種であり、周囲の有害な陰イオンを吸着し、層間に保持している塩素イオン（Cl⁻）を交換放出する性質を有しています。また、合成過程を調整し結晶子サイズをナノレベル化することで、陰イオンの吸着性が著しく向上しています。

バングラデシュでは1990年代にヒマラヤ山脈由来の地下水のヒ素汚染が確認されて以来、様々なヒ素汚染改善プロジェクトが実施されています。しかしながら、依然として散在村落の水道未整備地域に住む人々は、安全な「水」の確保が困難な状態にあります。当社が有するJaPani Systemを用いて、汚染された井戸水を浄化し、安全・安心で低価格な飲料水を提供する事業モデルの構築を目指しています。

■受賞内容

今回受賞した「JaPaniシステム」を活用した分散型地方給水事業は、バングラデシュで深刻な社会課題となっている地下水のヒ素汚染に対し、当社が開発した浄水技術を活用して安全・安心な飲料水を供給する取り組みです。高いヒ素吸着性能を有する機能性材料「NLDH」を用いて汚染された井戸水を浄化するとともに、現地人材による運転・維持管理体制の構築や地域住民への啓発活動を進め、持続可能な給水モデルの実現を目指しています。こうした地域課題の解決と日本の環境・浄水技術の海外展開に貢献する取り組みが評価され、「第9回JAPANコンストラクション国際賞（先駆的事業活動部門）」の受賞につながりました。

■機能性材料「NLDH」とは

NLDH（Nano-sized Layered Double Hydroxide ナノ層状複水酸化物）は、日本国土開発株式会社と早稲田大学が共同で開発した高機能な陰イオン吸着材です。ナノレベルまで微細化した層状複水酸化物（LDH）により、ヒ素やフッ素などの有害な陰イオンを効率的に吸着・除去することができます。

特にバングラデシュで深刻な問題となっている地下水中のヒ素に対して高い除去性能を有しており、JaPaniシステムの中核材料として活用されています。また、吸着性能に優れるだけでなく、安定した水質浄化を低コストで実現できることから、安全な飲料水の供給に貢献しています。



機能性材料「NLDH」(画像左)、バングラデシュに設置されたJaPani System浄水設備導入事例(画像右)

以上

この件に関するお問い合わせ先

日本国土開発株式会社 サステナビリティ経営本部戦略部 電話: 050-1735-9468